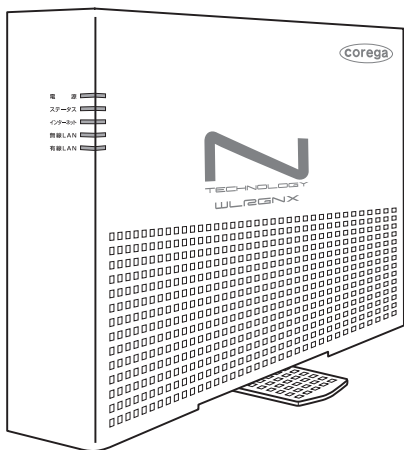
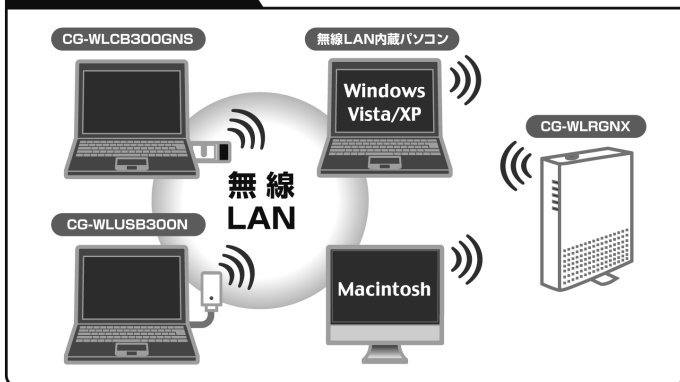
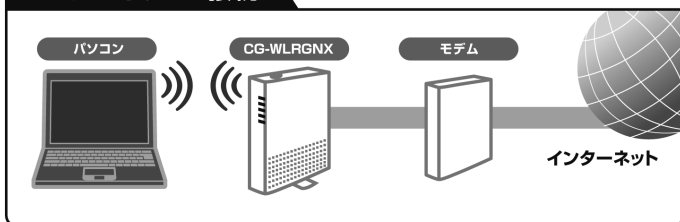
CG-WLRGNX
CG-WLRGNX-U
CG-WLRGNX-P
お使いの手引き

Contents

Y613-17954-01 Rev.C

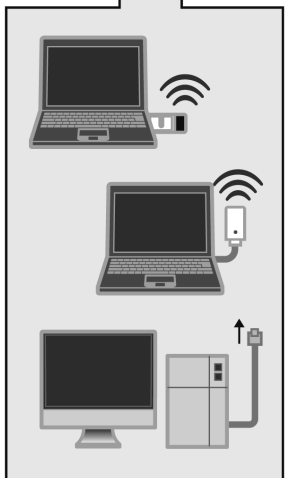
「らくらく導入ガイド」でできること

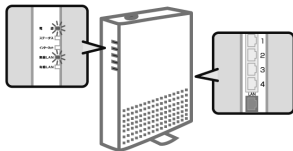
まずは
無線LANで接続したい！
インターネットに接続したい！

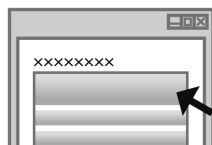
無線LANで接続

インターネットに接続

無線＆インターネットへの接続完了!!

「お使いの手引き(本書)」でできること

本商品でできることを知りたい！
パソコンやネットワーク機器をつなげたい!

2台目のパソコンを接続

>>> 第2章

各部の名称と働き

>>> 第1章

機　能

>>> 第3章

Q＆A

>>> 第4章

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠ 警告	**この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ 注意	**この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

⚠ 警告

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。
異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。
本商品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（または AC アダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品（AC アダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。
過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

本商品（AC アダプタ含む）を分解や改造はしないでください。
感電、火災、けが、故障の原因となります。

⚠ 警告

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、AC コンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、異臭がしたら使用を中止し、AC コンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品 (AC アダプタ含む) にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線商品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず P.4「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

· 心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害をおよぼし、生命の危険があります。

· 医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼし、生命の危険があります。

· 電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の商品仕様に記載されている使用周波数帯（2.4GHz 帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2　万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止したうえ、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。

3　そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへ問い合わせください。

左側面の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。
また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4DS/OF4
▬▬ ▬▬ ▬▬

2.4　：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4　：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■■■：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報をやり取りするため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続できるという利点があります。

その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへ接続し、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 商品のセキュリティに関する設定をして商品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をして、商品を使用することをお勧めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLRGNX」、「CG-WLRGNX-U」または「CG-WLRGNX-P」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-WLRGNX のことです。
無線LANアダプタ	CG-WLUSB300N または CG-WLCB300GNS のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

※本書では、複数のOSを「Windows Vista/XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○らくらく導入ガイド

はじめて本商品を接続するときにお読みいただく説明書です。

○お使いの手引き（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、使用方法について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

○詳細設定ガイド（コレガホームページからダウンロードできる PDF マニュアル）

本商品の Web 設定画面の詳細説明や、詳しい設定方法、使用方法について説明しています。「詳細設定ガイド」の入手方法は、P.124「4.4.8 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」をご覧ください。

○無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド（CG-WLRGNX-U のみ）

（ユーティリティディスクに収録の PDF マニュアル）

セット品に付属している CG-WLUSB300N の詳しい設定方法、使用方法について説明しています。

○無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド（CG-WLRGNX-P のみ）

（ユーティリティディスクに収録の PDF マニュアル）

セット品に付属している CG-WLCB300GNS の詳しい設定方法、使用方法について説明しています。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第１章　お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

■第２章　複数のネットワーク機器を接続する

この章では、お使いのネットワーク機器が複数ある場合の説明をしています。

■第３章　本商品を使いこなす

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

■第４章　トラブル解決と Q&A

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

CG-WLRGNX

- □ CG-WLRGNX 本体
- □ LAN ケーブル（1.5m）
- □ お使いの手引き（本書）
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ AC アダプタ（2 極 1.8m）
- □ らくらく導入ガイド
- □ ニンテンドー DS・Wii を接続する
- □ 製品保証書

CG-WLRGNX-U

- □ CG-WLRGNX 本体
- □ AC アダプタ（2 極 1.8m）
- □ LAN ケーブル（1.5m）
- □ らくらく導入ガイド
- □ ニンテンドー DS・Wii を接続する
- □ 製品保証書
- □ CG-WLUSB300N 本体
- □ ユーティリティディスク（CD-ROM）
- □ USB フレキシブルケーブル（15cm）
- □ お使いの手引き（本書）
- □ 電波干渉注意ラベル

CG-WLRGNX-P

- □ CG-WLRGNX 本体
- □ AC アダプタ（2 極 1.8m）
- □ LAN ケーブル（1.5m）
- □ お使いの手引き（本書）
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ CG-WLCB300GNS 本体
- □ ユーティリティディスク（CD-ROM）
- □ らくらく導入ガイド
- □ ニンテンドー DS・Wii を接続する
- □ 製品保証書

目次

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1　本商品の特長

本商品は、IEEE802.11n（ドラフト）、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠した無線ブロードバンドルータです。本商品には次のような特長があります。

- **40MHz のダブルチャンネルに対応**

  40MHz のダブルチャンネルを使うことで、従来の 54Mbps（理論値）よりも速い 150Mbps（理論値）に速度が向上します。

- **省エネを考慮したエコピタ LED 消灯モードを搭載**

  本体前面の LED を常時消灯する機能です。LED の明るさが気になるときにお使いください。

- **外部からの侵入を防ぐ無線スケジュール停止機能を搭載**

  あらかじめ設定したスケジュールの時間帯に、無線機能をストップする機能です。夜間などインターネットを使わない時間に、外部からの進入を防ぎます。

- **コンパクトで美しい筐体デザインを採用**

  筐体内部にアンテナを配置した、部屋の雰囲気を損なわないコンパクトで美しいデザインを採用しました。

- **WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応**

  無線 LAN の設定方法に、世界標準の Wi-Fi 規格「WPS」（Wi-Fi Protected Setup）を採用しました。同じ「WPS」を採用している無線 LAN アダプタと、ボタン 1 つで簡単に無線通信と暗号化を設定できます。

- **最新セキュリティに対応**

  最新の無線 LAN セキュリティである WPA・WPA2 のほか、従来の WEP に対応します。

- **ルータ機能スイッチ搭載**

  ルータ機能スイッチによって、ルータ機能付きのモデムをお使いの場合も、簡単に本商品のルータ機能をオフにできます。

- **マルチ AP 機能対応**

  通常の SSID（ファーストSSID）に加え、セカンド SSID を使用することで、高度なセキュリティを要求する機器と、WEP のみ対応した機器との接続が両立できます。

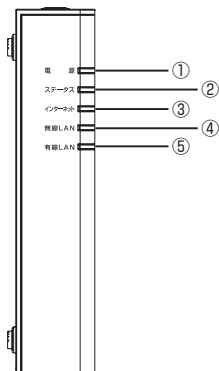
- **さまざまなダイナミック DNS サービスに対応**

  コレガが提供する無料ダイナミック DNS「corede.net（コレデ・ネット)」のほか「DynDNS」、「IvyNetwork」、「@NetDDNS」に対応します。

1.2　各部の名称と機能

各部の名称と働きを説明します。

1.2.1　CG-WLRGNX

■前面

①電源 LED（緑／橙）

本商品の電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本商品の電源が入っています。
橙	点灯	エコピタ LED 消灯モードが有効になっています。 P.59 「3.4　エコピタ LED 消灯モードを設定する」
ー	消灯	本商品の電源が入っていません。

②ステータス LED（赤）

本商品のセルフテストの結果を表示します。

電源を入れてしばらくするとステータス LED が点灯します。電源を入れて 3 分以上経ってもステータス LED が点灯したままになった場合は、セルフテストに失敗しています。その場合は、電源を入れ直してください。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	セルフテスト中です。
ー	消灯	セルフテストの結果、正常に動作しています。 または、エコピタ LED 消灯モードが有効になっています。 P.59 「3.4 エコピタ LED 消灯モードを設定する」

③インターネット LED（緑）

インターネットとの通信状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	インターネットに接続しています。
緑	点滅	接続に失敗しています。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・インターネットに接続していない ・ルータ機能が OFF（無効）になっている ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている P.59「3.4 エコピタLED消灯モードを設定する」

※接続環境によっては、正常にインターネット接続できていても点灯しない場合があります。

④無線 LAN LED（緑）

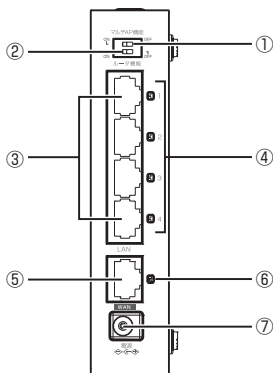
無線 LAN の通信状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	無線通信ができる状態です。
緑	点滅	無線通信中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・無線通信ができない ・無線通信が停止している ☞ P.60 「3.5 無線スケジュール停止機能を使う」 ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている ☞ P.59「3.4 エコピタLED 消灯モードを設定する」

⑤有線 LAN LED（緑）

有線 LAN の通信状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本体背面の 1 ～ 4 のいずれかの LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されています。
緑	点滅	データ通信中です。
ー	消灯	LAN ケーブルが接続されていません。 または、エコピタ LED 消灯モードが有効になっています。 ☞ P.59 「3.4 エコピタ LED 消灯モードを設定する」

■背面

①マルチ AP 機能スイッチ

SSID を 2 つに分け、無線のセキュリティ設定を使い分けることができます。

ON：マルチ AP 機能を使用します。ファースト SSID とセカンド SSID の 2 つを使用できます。

OFF：マルチ AP 機能を使用しません。ファースト SSID のみを使用できます。

マルチ AP 機能スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

②ルータ機能スイッチ

ルータ機能を強制的にオフ（無効）にできます。
通常は ON のままでお使いください。

ON：ルータ機能のオン（有効）またはオフ（無効）を、「簡単設定」で自動的に設定したり、設定画面で変更したりできます。
「簡単設定」で設定するには、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。
設定画面で変更するには、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。
☞ P.124 「4.4.8 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

OFF：ルータ機能を強制的にオフ（無効）にします。お使いの環境で、本商品より上位回線（インターネット）側にルータ機能の付いたモデムなどを接続している場合のみ、OFF にしてお使いください。この場合、本商品の IP アドレスは「192.168.1.220」（初期値）になります。

ルータ機能スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

③ LAN ポート（黄）

パソコンやハブを接続するためのポートです。

④ LAN ポート LED（緑）

LAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
緑	点滅	データ通信中です。
ー	消灯	LAN ケーブルが接続されていません。

⑤ WAN ポート（青）

モデムや光回線終端装置（ONU）など、既存のネットワークの上位回線（インターネット）に接続するためのポートです。

⑥WAN ポートLED（緑）

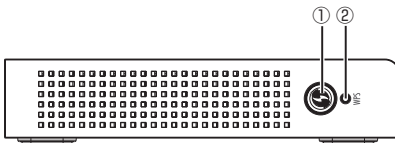
WAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
緑	点滅	データ通信中です。
－	消灯	LAN ケーブルが接続されていません。

⑦DC ジャック

付属の専用 AC アダプタを接続するためのコネクタです。

- 必ず本商品に付属の専用 AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品付属の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

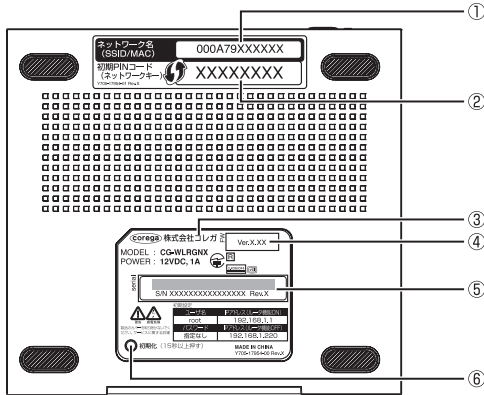
■上面

①WPS ボタン

WPS（Wi-Fi Protected Setup）を設定するためのボタンです。

②WPS LED（緑）

WPS の設定状態が表示されます。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点滅	WPS を設定中です。
－	消灯	WPS が動作中、または未設定です。

■左側面

①ネットワーク名（SSID）

本商品のネットワーク名（SSID）が記載されています。ネットワーク名は MAC アドレスと兼ねています。

②初期 PIN コード（ネットワークキー）

本商品の無線 LAN セキュリティの初期 PIN コード（初期値）が記載されています。

③製品ラベル

商品名が記載されています。

④ファームウェアバージョンラベル

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

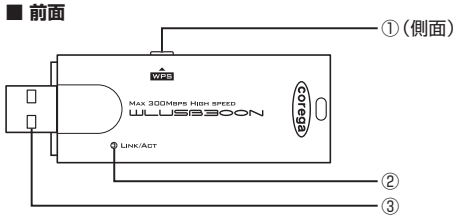
⑤シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要となります。

⑥初期化ボタン

本商品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）ことができます。詳しくは、P.120「4.4.4 本商品を工場出荷時の状態に戻したい」をご覧ください。

1.2.2　CG-WLUSB300N（CG-WLRGNX-U のみ）

■ **前面**

① WPS ボタン（側面）

WPS（Wi-Fi Protected Setup）を設定するためのボタンです。

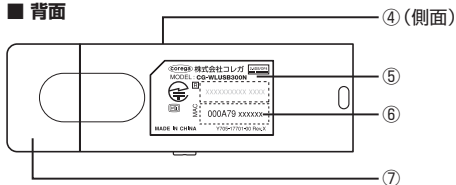
② LINK/ACT LED（緑）

本商品との接続状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	接続しています。
緑	点滅	通信中です。
ー	消灯	接続していません。

③ USB プラグ

パソコンの USB ポートに取り付けます。

■ 背面

④シリアル番号ラベル（側面）

シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要になります。

⑤製品ラベル

商品名が記載されています。

⑥ MAC アドレスラベル

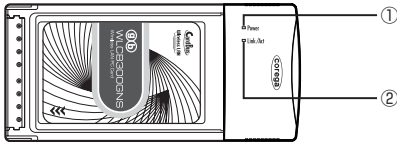
MAC アドレスが記載されています。

⑦キャップ

使用しないときに装着し、USB プラグを保護します。

1

1.2.3　CG-WLCB300GNS（CG-WLRGNX-P のみ）

■ 前面

① Power LED（緑）

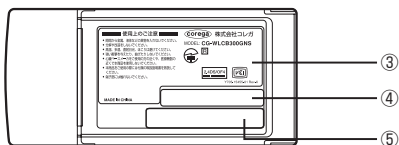
電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	電源が供給されています。
ー	消灯	電源が供給されていません。

② Link/Act LED（緑）

本商品との接続状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	接続しています。
緑	点滅	通信中です。
ー	消灯	接続していません。

■ 背面

③製品ラベル

商品名が記載されています。

④MAC アドレスラベル

MAC アドレスが記載されています。

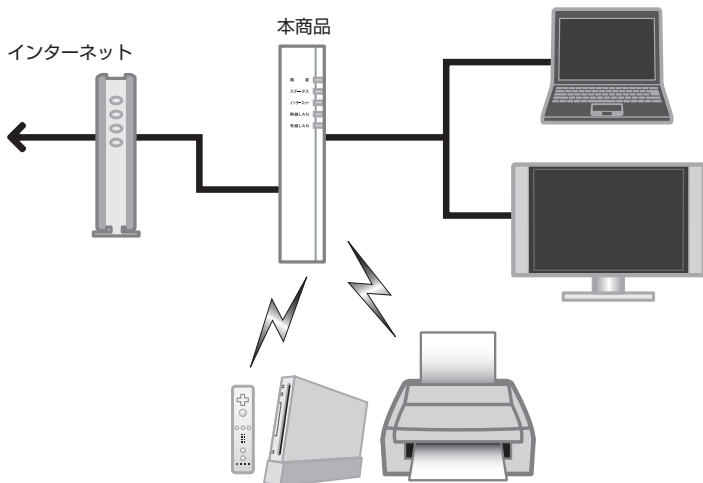
⑤シリアル番号ラベル

シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要になります。

第 2 章
複数のネットワーク機器を接続する

この章では、お使いのネットワーク機器が複数ある場合の説明をしています。

2.1　複数のネットワーク機器を本商品に接続する

お使いのネットワーク機器が複数ある場合は、次の手順で接続します。

☞ P.33 「2.2 複数のネットワーク機器を LAN ケーブルで接続する」

☞ P.34 「2.3 Windows Vista の内蔵無線 LAN で接続する」

☞ P.38 「2.4 Windows XP の内蔵無線 LAN で接続する」

☞ P.45 「2.5 AirMac（Macintosh の内蔵無線 LAN）で接続する」

☞ P.50 「2.6 既存の無線 LAN アダプタで接続する」

☞「ゲーム機を接続する」

付属の「ニンテンドー DS・Wii を接続する」をご覧ください。

- 複数のパソコンをお持ちの方は、はじめの 1 台のみ付属の「らくらく導入ガイド」をご覧になり、本商品を設定します。2台目以降のパソコンは、本商品の設定をする必要はありません。
- 本商品にパソコン以外のネットワーク機器を接続する場合は、接続するネットワーク機器の取扱説明書をご覧になり、本商品に接続してください。

2.2　複数のネットワーク機器を LAN ケーブルで接続する

次の図のように、2 台目以降のパソコンの LAN ポートと本商品の LAN ポートを、LAN ケーブル（別売り）で接続します。

・パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。詳しくは、P.92「■ パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する」をご覧ください。

・お使いのパソコンがプロキシサーバを使用していないことを確認してください。詳しくは、P.85 「■ プロキシサーバを使用していないことを確認する」をご覧ください。

・本商品とパソコンを接続するケーブルは、カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルをお使いください。

■複数のネットワーク機器の接続例

1台目のパソコン

パソコン

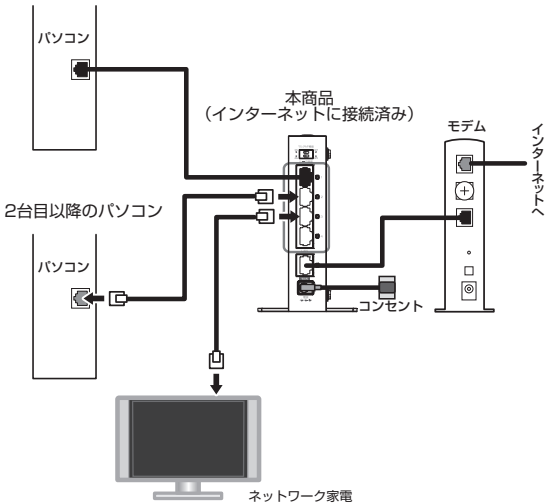
本商品
（インターネットに接続済み）

モデム

インターネットへ

2台目以降のパソコン

パソコン

コンセント

ネットワーク家電

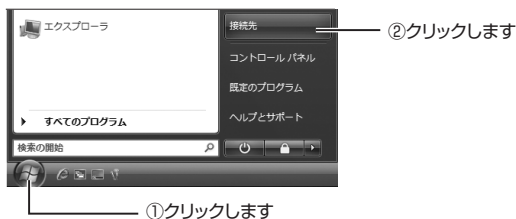
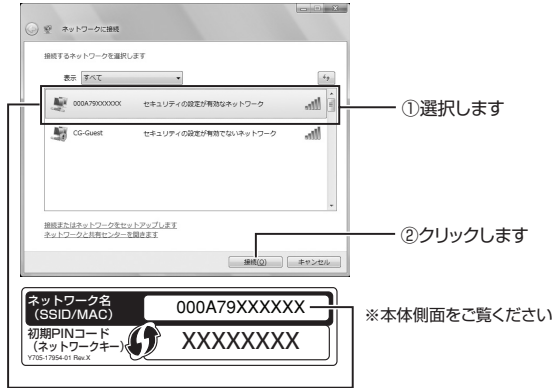
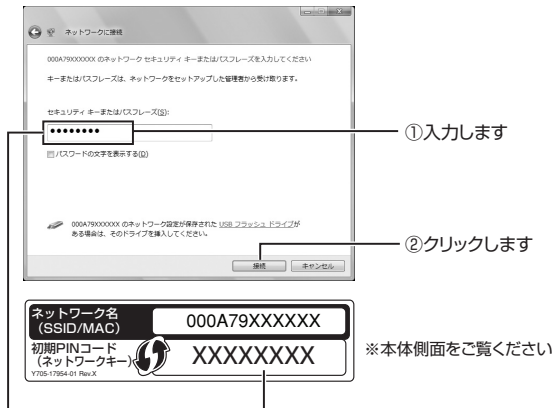
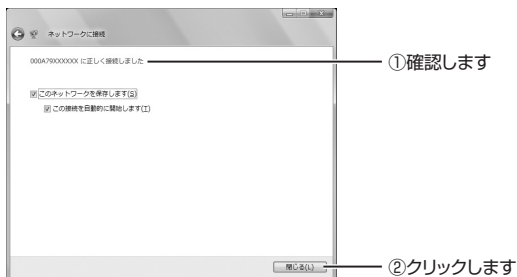
以上で、複数のネットワーク機器の接続は完了です。

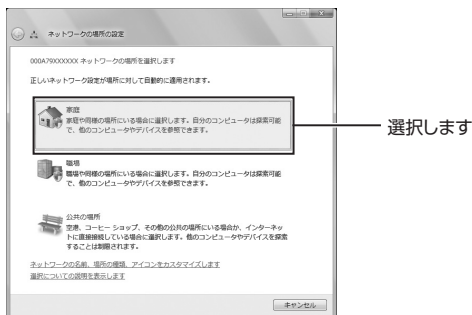
2.3 Windows Vista の内蔵無線 LAN で接続する

お使いの OS が Windows Vista で内蔵無線 LAN を搭載している場合、次の手順で本商品に接続します。この手順は Windows 標準の接続方法です。

・お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.50 「2.6 既存の無線 LAN アダプタで接続する」の情報をもとに、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。

・お使いのパソコンによっては、備え付けのスイッチで内蔵無線 LAN のオン／オフを切り替えられる場合があります。その場合、内蔵無線 LAN をオンにして本商品に接続してください。

1 ［スタート］－「接続先」の順にクリックします。

2　一覧から本商品の SSID（「ネットワーク名（SSID ／ MAC)」）を選択し、［接続］をクリックします。

3　「セキュリティキーまたはパスフレーズ」に「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力し、［接続］をクリックします。

4 「000A79XXXXXX に正しく接続しました」（XXXXXX は手順 2 で選択したネットワーク名）と表示されたことを確認して、［閉じる］をクリックします。

「このネットワークを保存します」および「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けると、パソコンを起動したときに自動的にネットワーク接続します。

5 使用場所を選択する画面が表示されます。通常は「家庭」を選択します。

6　「ユーザーアカウント制御」画面で、「続行」をクリックします。

7　「ネットワーク設定が正しく設定されました」と表示されます。[閉じる] をクリックします。

以上で、Windows Vista の内蔵無線 LAN での接続は完了です。

以上の手順で本商品に接続できなかった場合は、P.108「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をお試しください。

2.4 Windows XP の内蔵無線 LAN で接続する

お使いの OS が Windows XP で内蔵無線 LAN を搭載している場合、次の手順で本商品に接続します。この手順は Windows 標準の接続方法です。

- お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.50 「2.6 既存の無線 LAN アダプタで接続する」の情報をもとに、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。
- お使いのパソコンによっては、備え付けのスイッチで内蔵無線 LAN のオン／オフを切り替えられる場合があります。その場合、内蔵無線 LAN をオンにして本商品に接続してください。

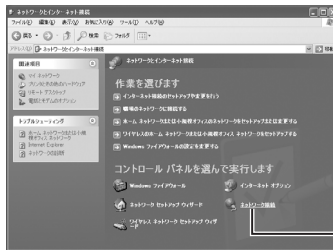
2.4.1 接続の前に

次の手順で Windows XP の「ワイヤレスネットワーク」が有効になっていることを確認します。

1 ［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をクリックして、手順４に進みます。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4　「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

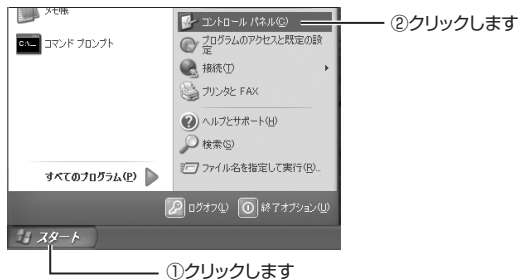
5 ワイヤレスネットワークタブをクリックし、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付けて、「優先ネットワーク」に表示された必要でないネットワークを削除してから［OK］をクリックします。

お使いのパソコンでメーカ独自の無線接続ソフトを使用している場合、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」の項目がないことがあります。そのときは、P.50 「2.6 既存の無線 LAN アダプタで接続する」の情報をもとに本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。

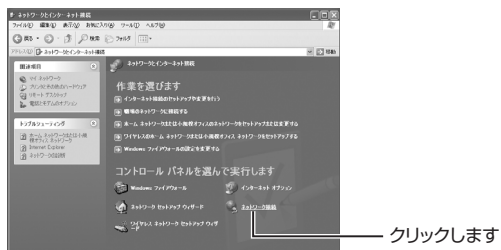
お使いのパソコンで、すでに本商品以外で無線 LAN 接続をしていて、今後も継続してお使いになる場合は、その項目を残し、それ以外の必要でない項目をすべて削除するまで③～④を繰り返します。

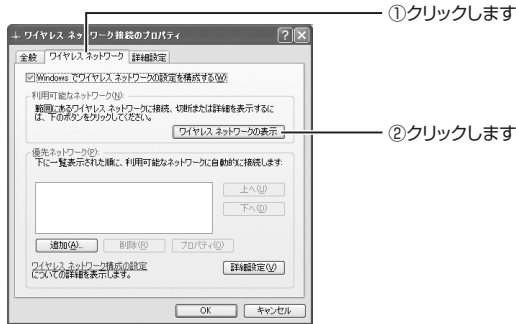
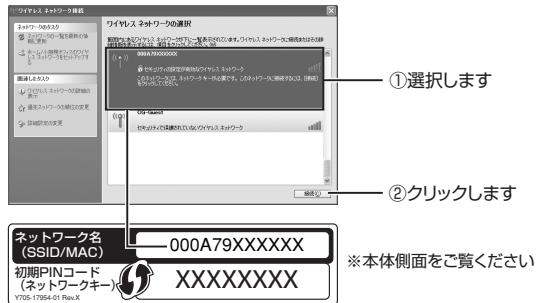
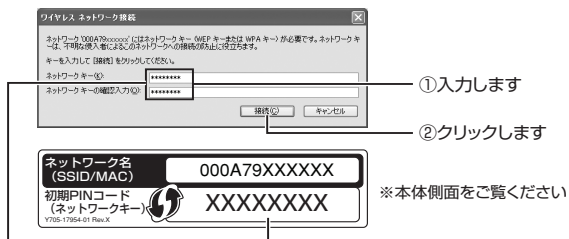
2.4.2　接続の手順

引き続き、次の手順で本商品に接続します。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

> **メモ**
> 「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5　ワイヤレスネットワークタブをクリックし、［ワイヤレスネットワークの表示］をクリックします。

6　一覧から本商品の SSID（「ネットワーク名（SSID ／ MAC)」）を選択し、［接続］をクリックします。

7 ネットワークキーに「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力し、［接続］をクリックします。

8 接続が完了すると「接続」と表示されます。

以上で、Windows XP の内蔵無線 LAN での接続は完了です。

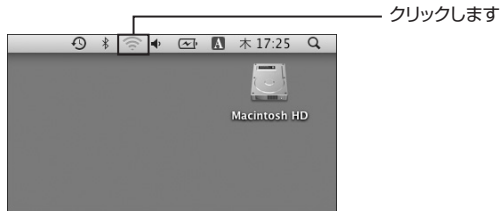
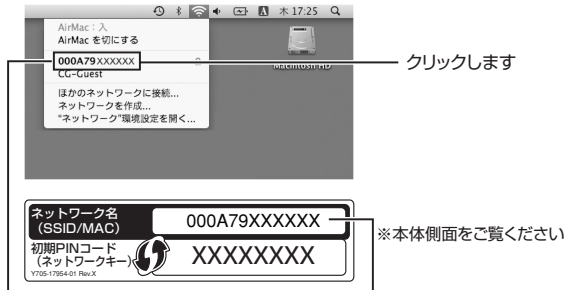
以上の手順で本商品に接続できなかった場合は、P.108「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をお試しください。

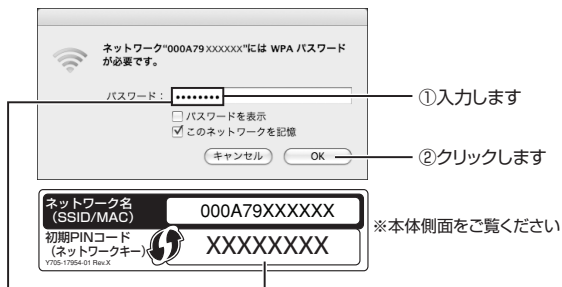
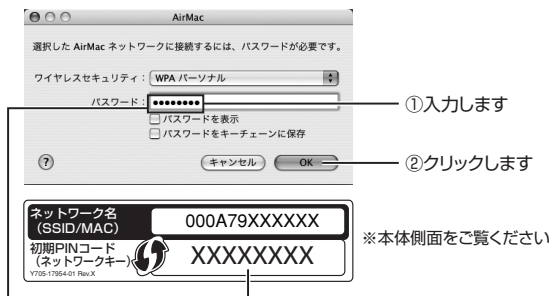
2.5　AirMac（Macintosh の内蔵無線 LAN）で接続する

お使いの環境が Macintosh で AirMac（内蔵無線 LAN）を搭載している場合は、次の手順で本商品に接続します。

> メモ　画面は Mac OS X 10.5 の例です。お使いの環境によって画面が多少異なる場合があります。

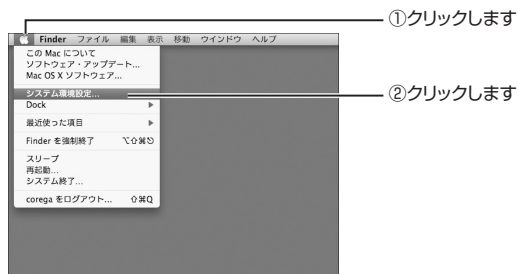
2.5.1　接続の手順

1　画面右上のタスクバーにある をクリックします。

2　一覧から本商品の SSID（「ネットワーク名（SSID ／ MAC）」）をクリックします。

3 パスワードに「初期PINコード（ネットワークキー）」を入力し、［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.5の場合

Mac OS X 10.4の場合

4　接続が完了すると → になります。

以上で、AirMac（Macintosh 内蔵無線 LAN）での設定は完了です。
引き続き、**P.48**「2.5.2 接続の確認」に進みます。

2.5.2　接続の確認

1　「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。

2　「ネットワーク」をクリックします。

3　本商品に接続されていることを確認します。

以上で、AirMac（Macintosh の内蔵無線 LAN）での接続は完了です。

2.6 既存の無線 LAN アダプタで接続する

次の場合は、無線 LAN アダプタ（USB、PC カードなど）に付属の無線接続ソフトで、必要な項目を設定して、本商品に接続してください。

・WPS に対応していないコレガ製無線 LAN アダプタをお使いの場合

・他社の無線 LAN アダプタをお使いの場合

・各パソコンメーカや周辺機器メーカ独自の無線接続ソフトをお使いの場合

ネットワーク名（SSID、ESSID）	①「ネットワーク名（SSID/MAC）」に記載
共有キー（WPA 共有キー）	②「初期 PIN コード（ネットワークキー）」に記載
認証方式	WPA2/WPA-PSK（パーソナル）
暗号方式	自動（AES/TKIP）

設定完了後、お使いの無線接続ソフトで、本商品に接続できることを確認してください。

第 3 章
本商品を使いこなす

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

3.1 設定画面を表示する

本商品の設定画面を表示するにはWeb ブラウザが必要です。本商品に接続している1 台のパソコンで設定します。Web ブラウザには本商品の推奨ブラウザをご利用ください。そのほかのWeb ブラウザでは、正常に設定できない場合があります。

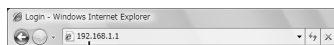
使用できるOS とWeb ブラウザは次のとおりです。

OS	Web ブラウザ
Windows Vista/XP	Internet Explorer 7.0
Windows 2000	Internet Explorer 6.0
Mac OS X	Safari 3.0/2.0

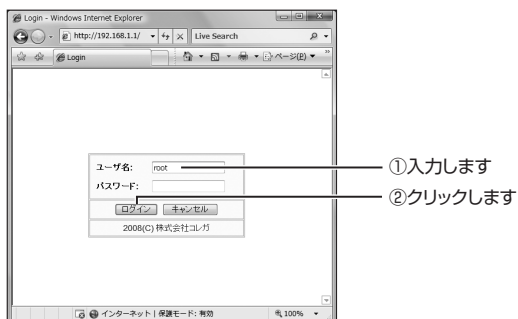
- 本商品を設定する場合には、本商品と設定用パソコンのみを接続することをお勧めします。パソコン以外のネットワーク機器のLAN ケーブルを取り外してください。
- 設定用パソコンでウィルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品を設定してください。設定作業が終了してから再度起動させてください。

1 Internet Explorer または Safari を起動します。

このとき 手順3 の画面が表示された場合は、そのまま手順3 へお進みください。

2 アドレス欄に「192.168.1.1」と入力し、Enter キーまたは return キーを押します。

入力します

- ルータ機能を「無効」に設定している場合や、本商品のIP アドレスを変更している場合は、変更後のIP アドレスを入力してください。
- 【Windowsのみ】「簡単設定」を使ってルータ機能を「無効」に設定し、Internet Explorer のお気に入りに登録している場合、お気に入りの中から本商品（CG-WLRGNX）をクリックします。

3　ユーザ名に「root」と入力し、パスワードは空欄のまま［ログイン］をクリックします。

4　設定画面が表示されます。

インターネットに接続できていない場合は「簡単設定」が表示されます。「簡単設定」の設定方法は、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

設定画面の基本的な操作は、P.54「3.2 設定する」をご覧ください。

3.2　設定する

設定画面の基本的な操作を説明します。

1　画面左側のメニューをクリックします。

各設定画面が表示されます。ここでは「管理」をクリックした画面を例に説明します。

2　必要な項目を設定します。

直接入力したり、プルダウンメニューやラジオボタンで選択したり、チェックボックスにチェックを付けたりして、必要な項目を設定します。

3　正しく設定したことを確認し、[設定] をクリックします。

［設定］をクリックすると、すぐに設定が有効になります。設定項目によっては、本商品が再起動することがあります。

・［設定］をクリックしたあとに設定を取り消すことはできません。

・［設定］をクリックする前に設定前の状態に戻すには、［取消］または［戻る］をクリックするか、または画面左側のメニューをクリックします。

4　設定を終了するには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。

3.3 ダブルチャンネルを設定する

本商品は「ダブルチャンネル」で20MHz幅のチャンネルを2つに束ねて、「ショートガードインターバル」でガードインターバルを短くすることで、150Mbps（理論値）の通信速度に対応します。

本機能を使用することで、近隣の無線 LAN ネットワーク（IEEE802.11g/b）の通信速度が低下することがあります。

3.3.1 動作環境について

150Mbps（理論値）の通信速度を実現するには、次の環境が必要です。

■ダブルチャンネルが利用できる無線アダプタ

セット品に付属の無線アダプタ	CG-WLRGNX-P（CG-WLCB300GNS） CG-WLRGNX-U（CG-WLUSB300N）
コレガの無線アダプタ（PC カード（カードバス）子機）	CG-WLCB300AGN CG-WLCB300GNM CG-WLCB300GNS CG-WLCB144GNL ※ 1
コレガの無線アダプタ（USB 子機）	CG-WLUSB300AGN CG-WLUSB300GNM CG-WLUSB300GNS CG-WLUSB300N CG-WLUSB2GNL ※ 1

※ 2009 年 2 月現在の対応機種です。
新しく発売される商品については、コレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※ 1 300Mbps 対応版の場合に、150Mbps（理論値）に対応します。

3.3.2　ダブルチャンネルを設定する

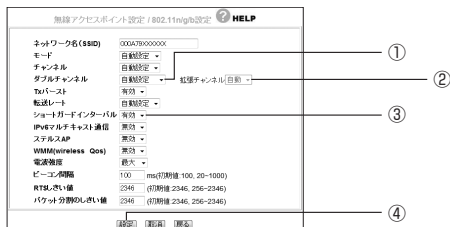
■本商品（CG-WLRGNX）を設定する

本商品のダブルチャンネルは、次の手順で設定します。

1　**設定画面を表示します。**

☞P.52「3.1　設定画面を表示する」

2　**「LAN 側設定」－「無線アクセスポイント設定」－「802.11n/g/b 設定」の順にクリックします。**

3 次のように設定します。

①「ダブルチャンネル」で、「自動設定」を選択します。

②「拡張チャンネル」が表示されることを確認します。

③「ショートガードインターバル」で「有効」を選択します。

④［設定］をクリックします。

> メモ　「拡張チャンネル」は、使用する「チャンネル」に合わせて自動的に設定されます（手動では設定できません）。

4 設定画面更新後に、画面右上の「ログアウト」をクリックします。

5 AC アダプタを電源コンセントから抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。

以上で、ダブルチャンネルの設定は完了です。

■無線 LAN アダプタを設定する

無線 LAN アダプタは、本商品に合わせて自動的に適切な速度に設定されます。「ダブルチャンネル」や「ショートガードインターバル」などの設定をする必要はありません。

3.4　エコピタ LED 消灯モードを設定する

本商品の前面の LED ランプを常時消灯にしておくことで、夜間でもまぶしさが気にならず、消費電力も抑えることができます。次の手順で設定してください。

1　**設定画面を表示します。**

☞P.52「3.1　設定画面を表示する」

2　**「管理」をクリックします。**

3　**次のように設定します。**

①「フロント LED」で「無効」を選択します。

②［設定］をクリックします。

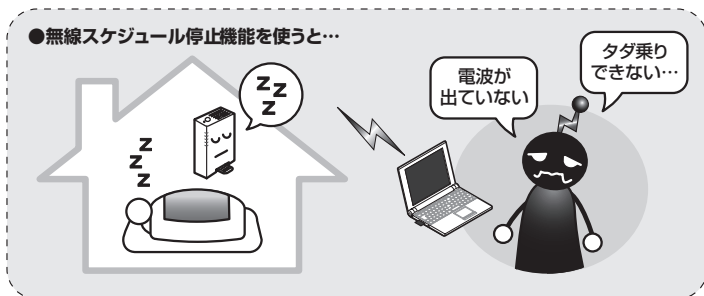
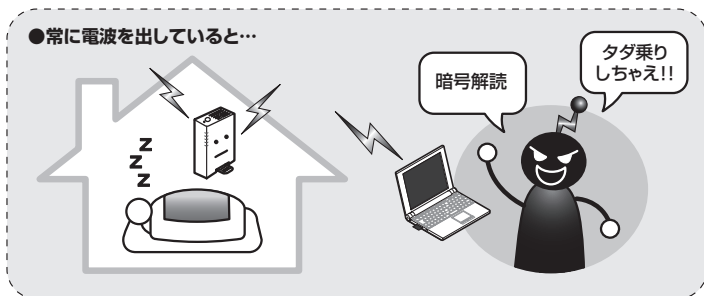
以上で、エコピタ LED 消灯モードの設定は終了です。

エコピタ LED 消灯モードに設定すると、本商品の前面の LED が電源 LED（橙）を残して、すべて消灯します。再起動など一部の機能を除き、LED は動作しません。

3.5　無線スケジュール停止機能を使う

■無線スケジュール停止機能とは？

今までの無線 LAN ルータは、無線を使用していない時間帯も常に電波を飛ばし続けているため、寝ているときや不在のあいだに無線から家庭内のネットワークに侵入されたり、電波をただ乗りされたりする心配がありました。

通常は、WPA2 や MAC アドレスフィルタなどの無線 LAN セキュリティを設定することで安心して無線 LAN を使用できるようになりますが、無線を使用しない時間帯は無線機能自体を停止することでさらに安全になります。また、無線LANルータ自体の電源は切りませんので、無線機能を停止していても、有線で本商品に接続している機器から外部のサーバに公開するなどの動作には影響はありません。

3.5.1　無線スケジュール停止機能を設定する

無線スケジュール停止機能は、次の手順で設定します。

■スケジュールを設定する

はじめに無線 LAN を停止するスケジュールを設定します。

設定する項目は次のとおりです。

名前	15 文字以内
開始時間	00:00 ～ 23:58（半角数字のみ） ※「終了時間」より前の時刻を設定してください。
終了時間	00:01 ～ 23:59（半角数字のみ） ※「開始時間」よりあとの時刻を設定してください。
コメント	20 文字以内

スケジュールを登録するには、表のすべての項目を設定する必要があります。

1　**設定画面を表示します。**

P.52「3.1　設定画面を表示する」

2　**「セキュリティ設定」－「スケジュール」の順にクリックします。**

3 スケジュールを登録します。

スケジュールを登録します。ここでは、次の表を例に設定しています。

スケジュール名	午前
開始時間	00:00
終了時間	08:00
コメント	0 時〜 8 時

4　登録されたスケジュールを確認します。

セキュリティ / スケジュール　HELP

スケジュール

名前:

コメント:

曜日	開始時間 (hh:mm)	終了時間 (hh:mm)
毎日	:	:
日曜日	:	:
月曜日	:	:
火曜日	:	:
水曜日	:	:
木曜日	:	:
金曜日	:	:
土曜日	:	:

登録

スケジュールテーブル(最大10まで)

ルール名	コメント	操作
午前	0時～8時	修正　削除

戻る

確認します

以上で、スケジュールが登録されました。

引き続き、P.63 「■ スケジュールを選択する」で無線 LAN を停止するスケジュールを設定します。

■スケジュールを選択する

次の手順で無線 LAN をスケジュールに従って停止します。

1　「無線ストップ機能」をクリックします。

2 「スケジューリング」で登録したスケジュールを選択し、［登録］をクリックします。

3 「無線ストップテーブル」に登録されたスケジュールを確認し、［無効］をクリックします。

4 状態が［有効］になっていることを確認します。

以上で、登録したスケジュールに従って、無線 LAN 機能が停止します。

無線 LAN 機能が停止している間は、無線 LAN LED が消灯します。

■スケジュールを一時的に無効にする

無線スケジュール停止機能を一時的に無効にする場合は、次の手順で無効にします。

1　［有効］をクリックします。

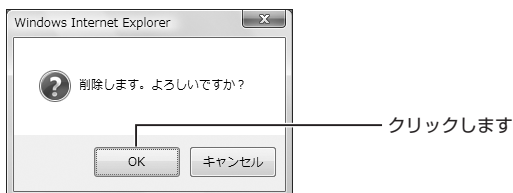
2　状態が［無効］になっていることを確認します。

以上で、無線スケジュール停止機能が一時的に無効になり、無線 LAN 機能が使用できます。

■スケジュールを削除する

無線スケジュール停止機能を削除する場合は、次の手順で削除します。

1 「削除」をクリックします。

2 [OK] をクリックします。

以上で、無線スケジュール停止機能のスケジュールの削除は完了です。

3.6　マルチ AP 機能を使う

本商品に搭載しているマルチ AP 機能について説明します。

3.6.1　WEP のぜい弱性とマルチ AP 機能

「WEP（Wired Equivalent Privacy）」は、802.11b の頃から広く使われている暗号方式ですが、近年さまざまなぜい弱性が発見され、十分なセキュリティを維持できなくなっています。

現在より強固な「WPA（Wi-Fi Protected Access）」や「WPA2」が採用されていますが、WEP にしか対応しない機器がまだまだたくさん存在します。そのため、せっかく WPA に対応した機器を持っていても、WEP 対応機器を混在させるには無線 LAN セキュリティを下げる必要があり、不安を抱えていました。

●WEPだけだと…

●WPAだけだと…

「WEP 対応機器をインターネットに接続したいけど、ネットワーク全体のセキュリティは下げたくない！」そのような要望を満たすために、本商品は「マルチ AP 機能」という、SSID を 1 つ増やす機能を搭載しました。

3.6.2 マルチ AP 機能の利点

マルチ AP 機能では、通常の SSID（ファースト SSID）に加えて、セカンドSSIDを使用できます。ファースト SSID では WPA2 の高度な暗号化を設定しつつ、セカンド SSID では WEP を設定できます。セカンド SSID はインターネット接続以外の通信を遮断しているため、LAN に侵入される心配はありません。LAN 全体のセキュリティを確保しながら、WEP 対応機器をインターネットに接続できます。

●マルチAPだと…

マルチ AP 機能は、WEP のみ対応するニンテンドーDS のような携帯ゲームなどでインターネットに接続する場合に最適です。

・本商品のルータ機能がオフの場合でも、マルチ AP 機能は使用できます。ただし、本商品の WAN ポートにルータ（またはルータ機能付きモデム）を接続する必要があります。

・セカンド SSID では UPnP 機能は使用できません。

3.6.3　マルチ AP 機能スイッチについて

マルチ AP 機能スイッチでマルチ AP 機能の状態を切り替えられます。マルチ AP 機能と、ファースト SSID ／セカンド SSID には次のような違いがあります。

マルチ AP 機能スイッチの状態	SSID	インターネット接続	設定画面表示	LAN 接続	対応する無線 LAN セキュリティ
マルチAP機能 ON OFF ← ON （工場出荷時）	ファースト SSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK WPA2/WPA-EAP WPS WEP（64/128bit）
	セカンド SSID	○	×	×	WEP（64/128bit）
マルチAP機能 ON OFF OFF →	ファースト SSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK WPA2/WPA-EAP WPS WEP（64/128bit）

マルチ AP のセカンド SSID に、ニンテンドー DS を接続するには、付属の「ニンテンドー DS・Wii を接続する」をご覧ください。

3.7　ゲーム機を接続する

ニンテンドー DS と Wii で本商品に接続する方法は、付属の「ニンテンドー DS・Wii を接続する」をご覧ください。そのほかのゲーム機は、各ゲーム機の取扱説明書をご覧になり、本商品に接続してください。

各ゲーム機で使用できるセキュリティは、次の表で確認してください。

ゲーム機	設定可能セキュリティ
PLAYSTATION3	WEP 64bit/128bit、WPA-PSK、WPA2-PSK
PSP	WEP 64bit/128bit、WPA-PSK
Xbox360	WEP 64bit/128bit、WPA-PSK
Wii	WEP 64bit/128bit、WPA-PSK、WPA2-PSK
ニンテンドー DS	WEP 64bit/128bit

- ゲーム機によっては接続の認証方式が SharedKey であったり、暗号キーが ASCII 文字であったりすると接続できない場合があります。その場合は、ほかのセキュリティを試してください。
- ゲームの操作方法などは、各ゲーム機の取扱説明書、または各メーカにお問い合わせください。

- WEPに設定できる文字は、64bit-16進数（0-9/a-f）、128bit-16 進数 (0-9/a-f)、64bit-ASCII（半角英数記号）、128bit-ASCII（半角英数記号）です。
- ニンテンドーDS は WPA-PSK および WPA2-PSK が使えないため、P.67 「3.6　マルチ AP 機能を使う」をご覧になり、セカンド SSID に接続することをお勧めします。

■ニンテンドー DS・Wii を接続する

ニンテンドー DS と Wii を接続する方法は、付属の「ニンテンドー DS・Wii を接続する」をご覧ください。

ニンテンドーDS・Wiiを接続する

ニンテンドーDS

1 「Wi-Fi」または「Wi-Fiせってい」をタッチし、「Wi-Fiコネクション設定」を表示します。

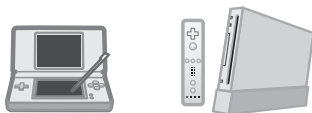
2 「Wi-Fi接続先設定」をタッチします。

3 「未設定」の接続先をタッチします。

4 「アクセスポイントを検索」をタッチします。

5 一覧の中から「CG-Guest」をタッチします。

6 「はい」をタッチし、接続テストを始めます。

7 「接続に成功しました。」と表示されたら設定完了です。

■ PSP をお使いの場合（CG-WLRGNX-U のみ）

CG-WLRGNX-U に付属の CG-WLUSB300N を使って「XLink Kai」を使う方法は、コレガホームページ「XLink Kai で通信対戦を楽しもう」をご覧ください。

☞**http://corega.jp/product/navi/xlnk**

> 注意　XLink Kai は弊社サポート対象外となります。

そのほかのゲーム機については、コレガホームページ「あの話題のゲーム機をコレガの無線 LAN で接続しよう」をご覧ください。

☞**http://corega.jp/product/navi/game_index.htm**

第 4 章
トラブル解決と Q&A

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

4.1　トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	**「らくらく導入ガイド」、「お使いの手引き」（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは…

STEP2	**本章の「トラブル解決と Q&A」を確認する** ☞ **P.75**「4.2　本商品（CG-WLRGNX）のトラブル」 ☞ **P.109**「4.3　付属の無線 LAN アダプタのトラブル」 ☞ **P.119**「4.4　よくあるご質問」

それでも解決できないときは…

STEP3	**コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する** 本商品の「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）、最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームウェア・ソフトウェアなどを提供しています。

それでも解決できないときは…

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は本書の裏表紙をご覧ください。

4.2　本商品（CG-WLRGNX）のトラブル

本商品（CG-WLRGNX）について、よくあるトラブルとその対処方法を説明します。

4.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、AC アダプタのケーブルが断線していないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり、修理を依頼してください。

☞P.136 「保証と修理について」

4.2.2　LED が点灯・点滅しない

本体前面の電源 LED が橙色で、ほかの LED が消灯しているときは、「エコピタ LED 消灯モード」になっています。詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞P.59 「3.4　エコピタ LED 消灯モードを設定する」

4.2.3　設定画面が表示されない

本商品の設定画面が表示されないときは、次の項目を確認してください。

☞P.76 「■セキュリティソフトを停止する」
☞P.76 「■ OS のファイアウォール機能を無効にする」
☞P.81 「■ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する」
☞P.83 「■ Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する」
☞P.85 「■プロキシサーバを使用していないことを確認する」
☞P.92 「■パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する」
☞P.107 「■セカンド SSID 以外で本商品に接続する」

Q&A

■セキュリティソフトを停止する

セキュリティソフトが動作していると、本商品を設定できないことがあります。本商品を設定するときは、一時的にセキュリティソフトの動作を停止させてください。本商品の設定が終了したら、セキュリティソフトの動作を再開してください。

セキュリティソフトの停止方法、再開方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧いただくか、ソフトウェアメーカへお問い合わせください。パソコンのご購入時にセキュリティソフトがインストールされていた場合は、パソコンメーカへお問い合わせください。

■ OS のファイアウォール機能を無効にする

ファイアウォール機能の設定方法は、お使いの OS によって異なります。

☞P.76 「○ Windows Vista の場合」

☞P.78 「○ Windows XP（SP2 以降）の場合」

○ Windows Vista の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

本商品の設定が終了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

1 ［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。

クリックします

クラシック表示の場合は、「コントロールパネルホーム」をクリックすると手順２の画面が表示されます。

3　「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

4　全般タブをクリックします。

クリックします

Windows ファイアウォールの設定

全般　例外　詳細設定

例外を使用して、Windows ファイアウォール経由でプログラムが通信する方法を制御します。ファイアウォール経由の通信を許可するには、プログラムまたはポートの例外を追加してください。

Windows ファイアウォールには、現在 パブリック ネットワークの場所の設定が使用されています。プログラムのブロックを解除するとどのような危険性がありますか?

例外を有効にするには、チェック ボックスをオンにしてください(T):

プログラムまたはポート
- BITS ピア キャッシュ
- iSCSI サービス
- Media Center Extender
- SNMP Trap
- Windows Management Instrumentation (WMI)
- Windows Media Player
- Windows Media Player ネットワーク共有サービス
- Windows グループ作業ツール コンピュータ名の登録サービス
- Windows ピア ツー ピア共同作業ファンデーション
- Windows ファイアウォール リモート管理
- Windows ミーティング スペース

プログラムの追加(R)...　ポートの追加(O)...　プロパティ(I)　削除(D)

Windows ファイアウォールによる新しいプログラムのブロック時に通知を受け取る(B)

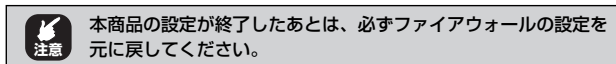
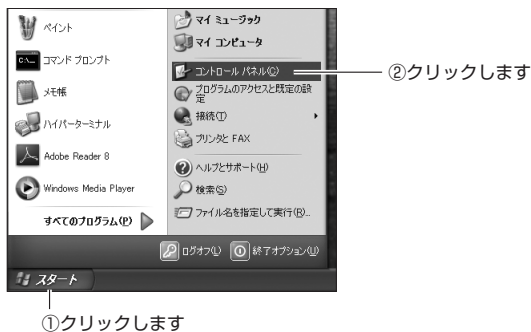
OK　キャンセル　適用(A)

5 「無効（推奨されません)」を選択して、[OK] をクリックします。

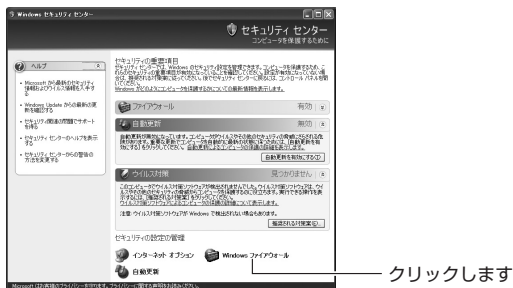
以上で、ファイアウォールが無効になりました。

○ Windows XP（SP2 以降）の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

本商品の設定が終了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

1 [スタート] ―「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「セキュリティセンター」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「セキュリティセンター」をダブルクリックします。

3 「Windows ファイアウォール」をクリックします。

4 「無効（推奨されません)」を選択して、[OK] をクリックします。

以上で、ファイアウォールが無効になりました。

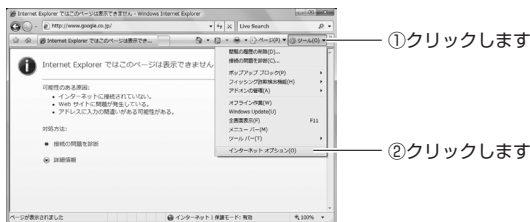
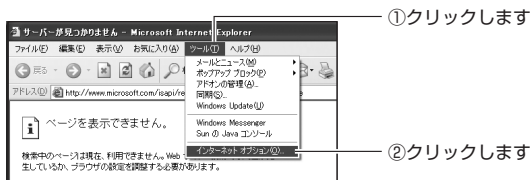
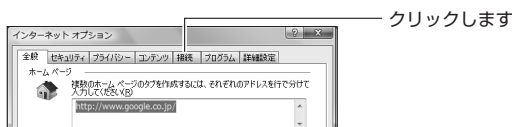
■ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する

次の手順で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認してください。

プロバイダが提供している接続ツールなどがインストールされていると、正しく設定できないことがあります。その場合は、接続ツールを削除（アンインストール）してください。

1　Internet Explorer を起動します。

2　「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。

Internet Explorer 7 の場合

Internet Explorer 6 の場合

3　接続タブをクリックします。

4 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」を確認します。

「ダイヤルしない」が選択されているか、またはグレーアウトされて選択できないことを確認して、［OK］をクリックします。

「ダイヤルしない」が選択されている場合

グレーアウトされている場合

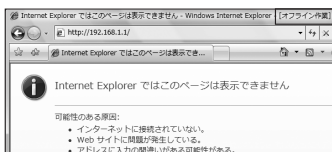
以上で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認できました。

■ Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する

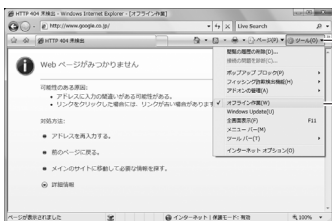
次の手順で、Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認してください。

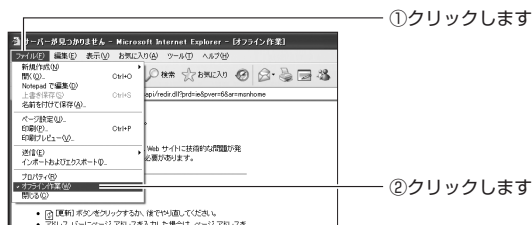
1 Internet Explorer を起動します。

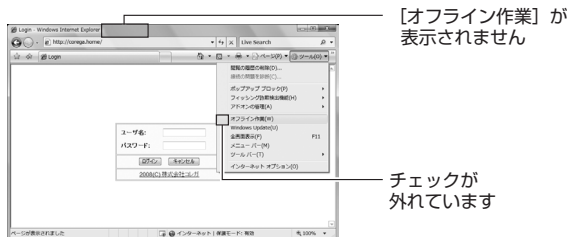
2 タイトルバーを確認します。

オフラインになっていると、タイトルバーに［オフライン作業］と表示されます。

3 「オフライン作業」のチェックを外します。

Internet Explorer 7 の場合

「ツール」－「オフライン作業」の順にクリックして、チェックを外します。

Internet Explorer 6の場合

「ファイル」－「オフライン作業」の順にクリックして、チェックを外します。

4 タイトルバーを確認します。

「オフライン作業」のチェックが外れ、タイトルバーに［オフライン作業］が表示されていないことを確認します。

以上で、Internet Explorerがオフラインになっていないことが確認できました。

■プロキシサーバを使用していないことを確認する

プロキシサーバの設定方法は、お使いの OS によって異なります。

☞P.85 「○ Windows の場合」

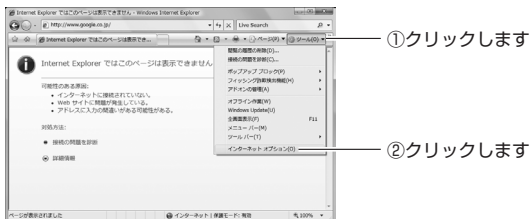
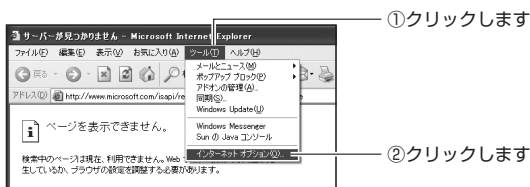
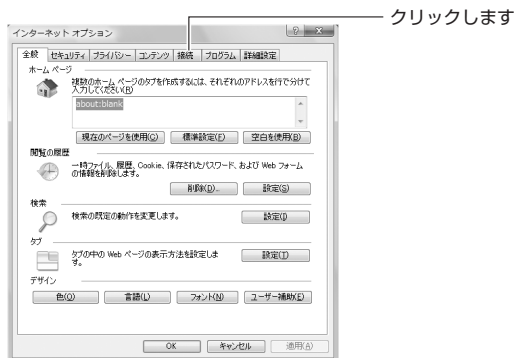
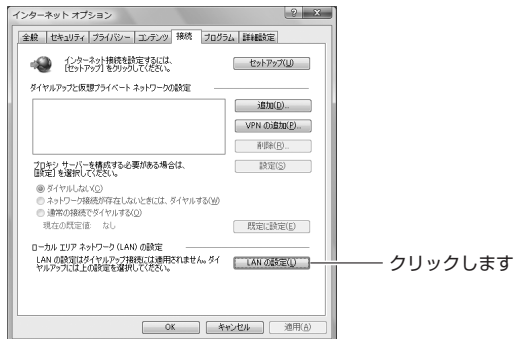
☞P.88 「○ Macintosh の場合」

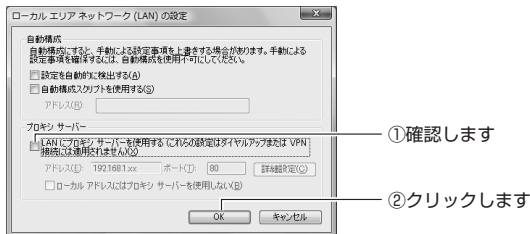
○ Windows の場合

次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。

1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。

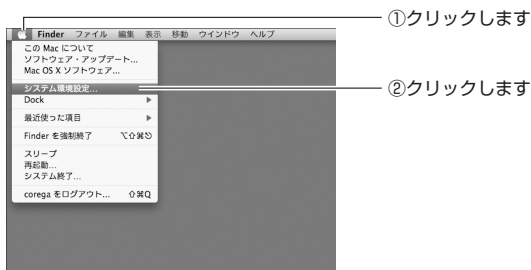
Internet Explorer 7 の場合

Internet Explorer 6 の場合

3　接続タブをクリックします。

4　［LAN の設定］をクリックします。

5　「プロキシサーバー」を確認します。

「LAN にプロキシサーバーを使用する」にチェックが付いていないことを確認して、［OK］をクリックします。

6　手順３の画面が表示されます。[OK] をクリックします。

以上で、プロキシサーバを使用していないことが確認できました。

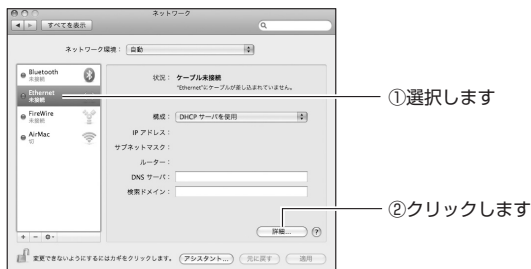
○ Macintosh の場合

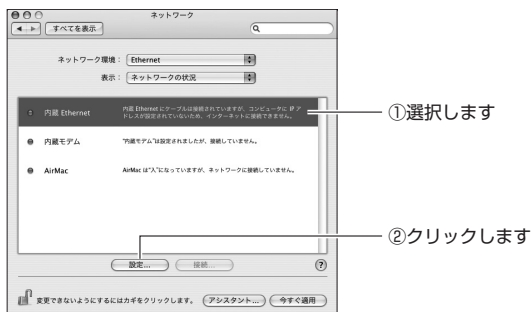
次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。

1　「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。

2　「ネットワーク」をクリックします。

3　［詳細］または［設定］をクリックします。

Mac OS X 10.5 の場合

「Ethernet」を選択し、［詳細］をクリックします。

Mac OS X 10.4 の場合

「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定］をクリックします。

4 「プロキシ」をクリックします。

Mac OS X 10.5の場合

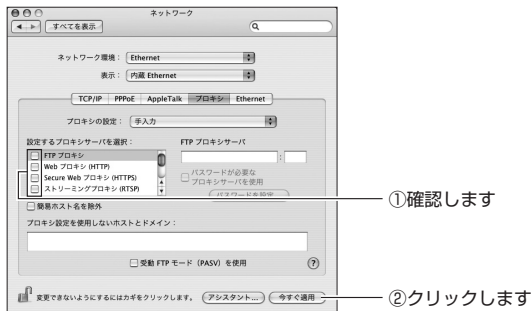
Mac OS X 10.4の場合

5 プロキシサーバにチェックが付いていないことを確認します。

Mac OS X 10.5 の場合

「構成するプロトコルを選択」の項目でチェックが付いていないことを確認して、［OK］をクリックします。
チェックが付いている場合はチェックを外し、［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.4 の場合

「設定するプロキシサーバを選択」の項目でチェックが付いていないことを確認して、［今すぐ適用］をクリックします。
チェックが付いている場合はチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。

以上で、プロキシサーバを使用していないことが確認できました。

■パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する

IP アドレスの設定方法は、お使いの OS によって異なります。

☞P.92 「○ Windows Vista の場合」
☞P.96 「○ Windows XP の場合」
☞P.99 「○ Windows 2000 の場合」
☞P.101 「○ Windows Me/98SE の場合」
☞P.105 「○ Macintosh の場合」

○ Windows Vista の場合

次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1 ［スタート］－「ネットワーク」の順にクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」をクリックします。

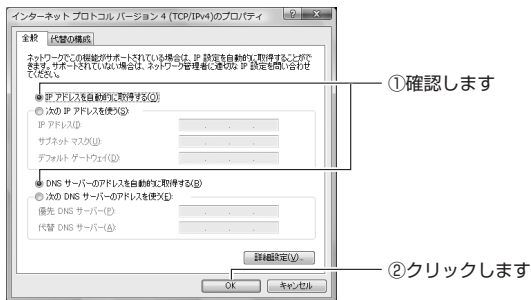
3 「状態の表示」をクリックします。

4 [プロパティ] をクリックします。

5 「ユーザーアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。

6 「インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4)」を選択して、［プロパティ］をクリックします。

7 設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレス を自動的に取得する」が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。

8 ［閉じる］をクリックします。

9 ［閉じる］をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

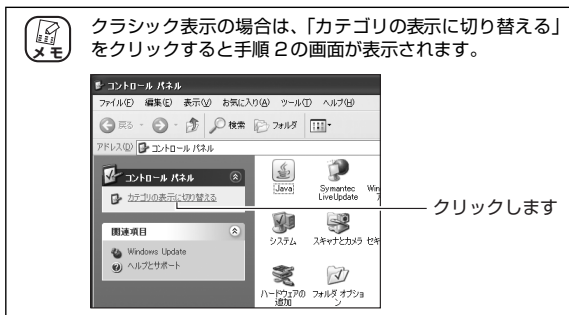
Q&A

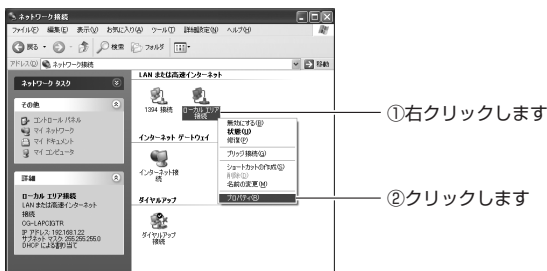
○ Windows XP の場合

次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

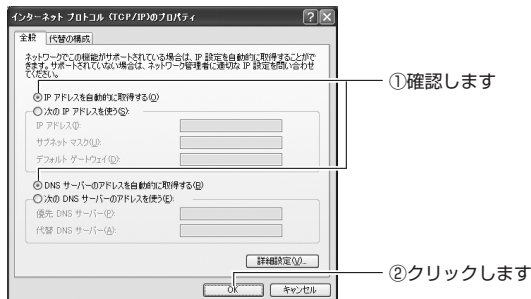
1 [スタート] ー「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「カテゴリの表示に切り替える」をクリックすると手順２の画面が表示されます。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4　「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

5 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、[プロパティ］をクリックします。

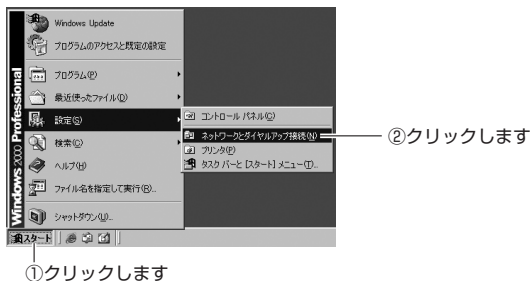
6 設定を確認します。

「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。

7 手順5の画面が表示されますので、[OK］をクリックします。

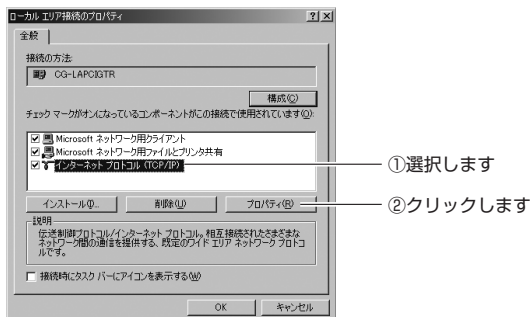
以上で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

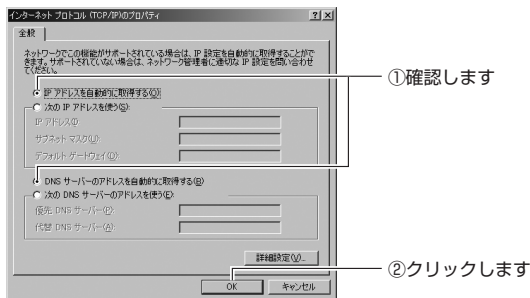
○ Windows 2000 の場合

次の手順で、パソコンのIP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1　［スタート］－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順にクリックします。

2　「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

Q&A

3 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択して、［プロパティ］をクリックします。

4 設定を確認します。

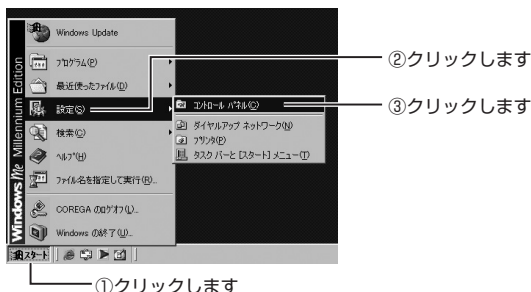
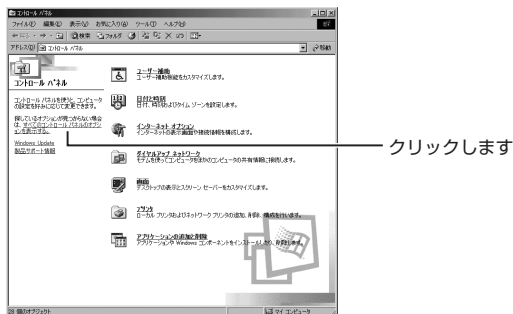
「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレス を自動的に取得する」が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。

5 手順 3 の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

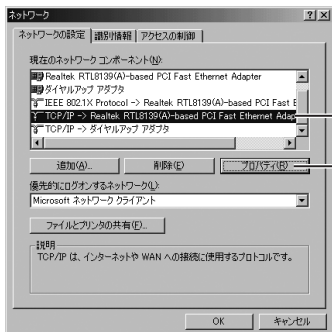
○ Windows Me/98SE の場合

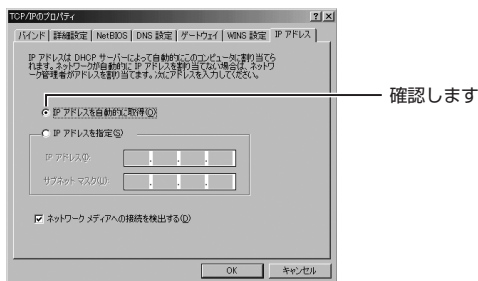
次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

※画面は Windows Me の例です。

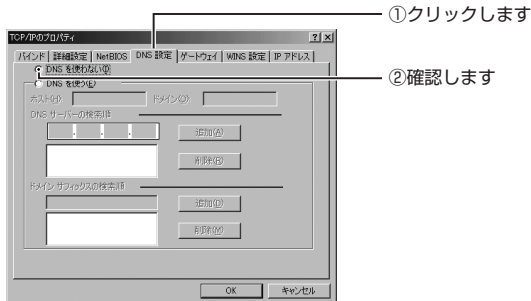
1　［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

この画面が表示されない場合は、手順３に進みます。

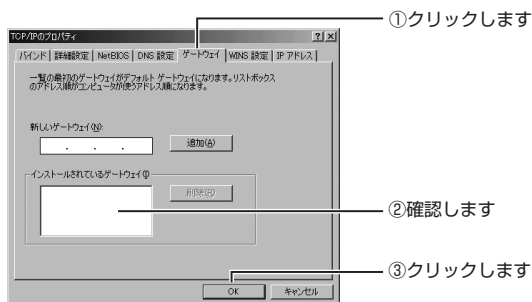
3 「ネットワーク」をダブルクリックします。

4 「TCP/IP -> （お使いのネットワークアダプタ名）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

5　IP アドレスの設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得」が選択されていることを確認します。

6　DNS の設定を確認します。

DNS 設定タブをクリックし、「DNS を使わない」が選択されていることを確認します。

Q&A

7　ゲートウェイの設定を確認します。

ゲートウェイタブをクリックし、「インストールされているゲートウェイ」が空白になっていることを確認して、［OK］をクリックします。

8　手順 4 の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

○ Macintosh の場合

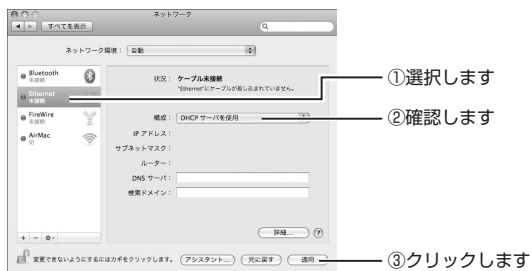
次の手順で、パソコンのIP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

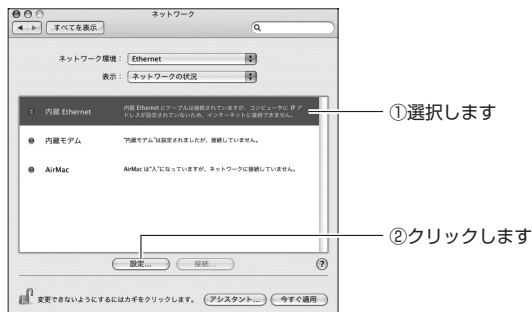
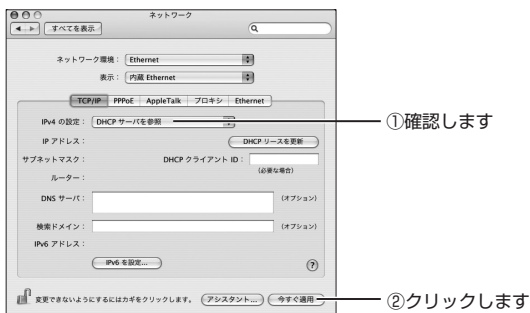
1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 DHCP サーバの使用を確認します。

Mac OS X 10.5 の場合

「Ethernet」を選択し、「DHCP サーバを使用」が選択されていることを確認します。
「DHCP サーバを使用」が選択されていない場合は、「DHCP サーバを使用」を選択し、［適用］をクリックします。

Mac OS X 10.4 の場合

①「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定］をクリックします。

②「IPv4 の設定」で、「DHCP サーバを参照」が選択されていることを確認します。
「DHCP サーバを参照」が選択されていない場合は、「DHCP サーバを参照」を選択し、［今すぐ適用］をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

■セカンド SSID 以外で本商品に接続する

セカンド SSID（工場出荷時の設定では「CG-Guest」に設定されています）で設定された無線ネットワークでは、本商品の設定画面を表示できません。
セカンド SSID に接続している場合は、ファースト SSID（工場出荷時の設定は本体左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC）」に記載されています）に接続し直すか、または LAN ケーブルで本商品に接続してください。

Q&A

4.2.4　無線LAN内蔵パソコンで接続できない

■Windows XP用更新プログラム「KB893357」をインストールする

無線LAN内蔵パソコンで、Windows XPに標準搭載されているワイヤレスネットワークから接続するときに、「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示された場合は、Windows XP用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。
検索サイトで「KB893357」で検索して、Microsoft社のホームページでダウンロードします。詳しくは、OSのサポート元（パソコンメーカなど）にお問い合わせください。

■内蔵無線LANがWPAに対応していることを確認する

本商品の無線LANセキュリティが初期状態（WPA/WPA2-PSK）で、更新プログラムなどをインストールしても接続できない場合は、内蔵無線LANが「WPA」のセキュリティに対応していることを確認してください。詳しくは、パソコンメーカにお問い合せください。

■無線LANの接続手順を確認する

本書に記載している内蔵無線LANの接続手順は、Windows標準の接続方法です。お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.50「2.6　既存の無線LANアダプタで接続する」、およびお使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、本商品に接続してください。詳しくは、パソコンメーカにお問い合わせください。

4.3　付属の無線 LAN アダプタのトラブル

CG-WLRGNX-U／CG-WLRGNX-Pに付属の無線LANアダプタ（CG-WLUSB300N／CG-WLCB300GNS）について、よくあるトラブルとその対処方法を説明します。

4.3.1　無線 LAN 内蔵パソコンにインストールしてしまった

無線 LAN 内蔵パソコンをお使いの場合は、CG-WLRGNX-U ／ CG-WLRGNX-P に付属の無線 LAN アダプタ（CG-WLUSB300N ／ CG-WLCB300GNS）をインストールする必要はありません。パソコンに内蔵の無線LAN機能をお使いください。
「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧になり、ドライバを削除（アンインストール）してください。

☞P.124 「4.4.8 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

4.3.2　ドライバのインストール中にキャンセルしてしまった

ドライバをインストールしている途中でキャンセルをしてしまうと、ドライバが不完全な状態になり、無線 LAN アダプタを使用できません。
インストールの途中でキャンセルをしてしまった場合は、パソコンを再起動して、インストールをはじめからやり直してください。それでもインストールを完了できなかった場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

4.3.3　取り付けたらパソコンが動作しなくなった

お使いの環境によってインストールに時間がかかる場合がありますので、そのまましばらくお待ちください。
5 分ほど待っても画面が切り替わらない場合は、パソコンの電源を切り、無線 LAN アダプタをパソコンから取り外して、インストールをはじめからやり直してください。

4.3.4　無線 LAN アダプタを取り付けたままリカバリしてしまった

無線LANアダプタを取り付けたまま Windowsをリカバリしてしまうと、無線 LAN アダプタの情報がパソコンに残ってしまいます。次の手順でインストールをやり直してください。

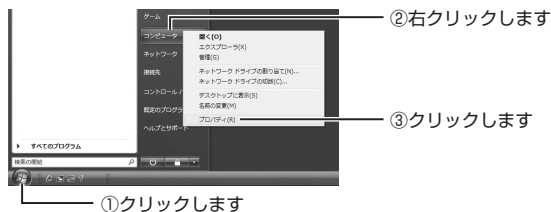
☞P.110 「■ Windows Vista の場合」

☞P.113 「■ Windows XP の場合」

☞P.116 「■ Windows 2000 の場合」

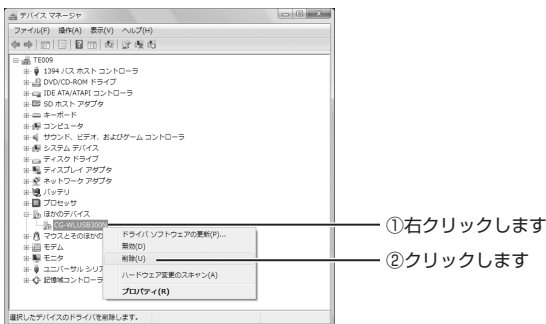
■ Windows Vista の場合

1 無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

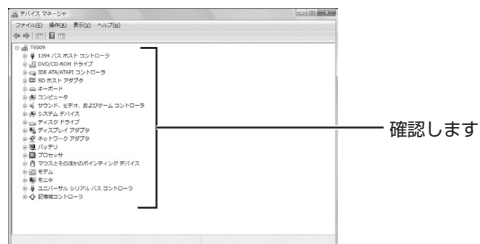
2 ［スタート］をクリックし、「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3 「デバイスマネージャ」をクリックします。

4 「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

5　正しく認識されていない機器を削除します。

「ほかのデバイス」の下に表示された機器を右クリックし、「削除」をクリックします。

表示される機器の名称はお使いの機器や環境によって異なります。

6　［OK］をクリックします。

7 削除されたことを確認します。

8 無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

9 無線 LAN アダプタのドライバをインストールし直します。

詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

■ Windows XP の場合

1　無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

2　［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3　ハードウェアタブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。

4 正しく認識されていない機器を削除します。

「その他のデバイス」の下に表示された機器を右クリックし、「削除」をクリックします。

表示される機器の名称はお使いの機器や環境によって異なります。

5 ［OK］をクリックします。

6　削除されたことを確認します。

7　無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

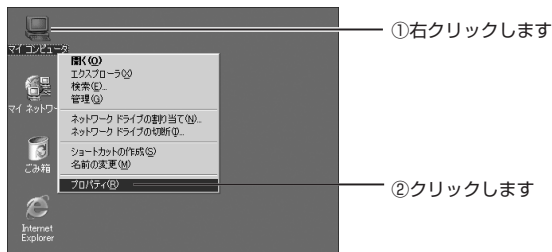
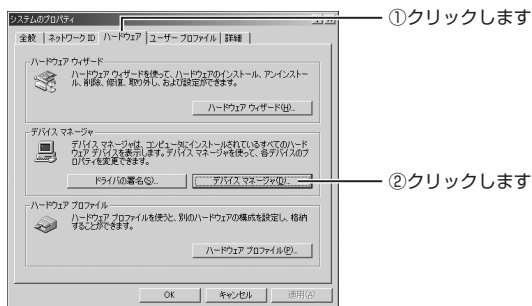
8　無線 LAN アダプタのドライバをインストールし直します。

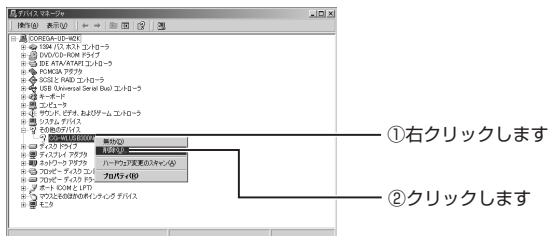
詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

Q&A

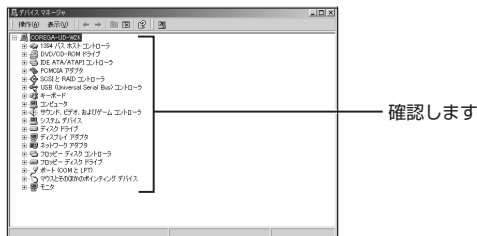
■ Windows 2000 の場合

1 無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

2 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

3 ハードウェアタブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。

4　正しく認識されていない機器を削除します。

「その他のデバイス」の下に表示された機器を右クリックし、「削除」をクリックします。

表示される機器の名称は、お使いの機器や環境によって異なります。

5　［OK］をクリックします。

6　削除されたことを確認します。

7 無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

8 無線 LAN アダプタのドライバをインストールし直します。

詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

4.4　よくあるご質問

ここでは、よくあるご質問について記載しています。

4.4.1　無線 LAN セキュリティを設定したい

本商品は、工場出荷時に次の無線 LAN セキュリティが設定されています。

ネットワーク名（SSID、ESSID）	本体側面の「ネットワーク名（SSID/MAC）」に記載
認証方式	WPA2/WPA-PSK（パーソナル）
暗号方式	自動（AES/TKIP）
共有キー（WPA 共有キー）	本体側面の「初期 PIN コード（ネットワークキー）」に記載

マルチ AP 機能を有効にしている場合は、ファースト SSID のほかにセカンド SSID を使用できます。セカンド SSID の工場出荷時の無線 LAN セキュリティは、次のとおりです。

ネットワーク名（SSID、ESSID）	CG-Guest
認証方式	Open System
暗号方式	なし
暗号キー（WEP キー）	なし

☞P.67「3.6　マルチ AP 機能を使う」

無線 LAN セキュリティの設定は、本商品の設定画面で変更できます。詳しくは、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.124「4.4.8　もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

Q&A

4.4.2　無線 LAN 内蔵パソコンを接続したい

本商品と無線 LAN で接続するには、パソコンに内蔵されている無線 LAN 機能が IEEE802.11n（ドラフト）/g/b に対応している必要があります。詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞P.34「2.3 Windows Vista の内蔵無線 LAN で接続する」

☞P.38「2.4 Windows XP の内蔵無線 LAN で接続する」

☞P.45「2.5 AirMac（Macintosh の内蔵無線 LAN）で接続する」

4.4.3　複数台のパソコンを接続したい

本商品には複数台のパソコンやネットワーク機器を接続できます。詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞P.31「第 2 章　複数のネットワーク機器を接続する」

4.4.4　本商品を工場出荷時の状態に戻したい

本商品を工場出荷時の状態に戻す手順は、次のとおりです。

1　**すべての LAN ケーブルを抜きます。**

2　**AC アダプタを電源コンセントから抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。**

- 電源コンセントに AC アダプタを差し込み、前面の電源 LED が点灯し、ステータス LED が点滅→消灯に変わると、本商品が正常に起動しています。
- 本商品が起動するまでに 30 秒ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

3　初期化ボタンを押します。

本商品の電源が入っている状態で、側面にある初期化ボタンを 15 秒以上押し続けます。
初期化ボタンを押し始めてから5秒ほどでステータスLEDがゆっくり点滅して、さらに 5 秒ほどでステータス LED が速く点滅します。速く点滅していることを確認してから、初期化ボタンを離します。

初期化ボタンは、クリップなどの硬くて先の細いものを使用して押してください。

4　LED を確認します。

前面の電源LED が点灯し、ステータス LED が点滅→消灯に変わり、無線 LAN LED が点滅して、本商品が起動したことを確認します。

本商品が起動するまでに 30 秒ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

Q&A

4.4.5　無線LANアダプタを取り外したい

CG-WLRGNX-U または CG-WLRGNX-P に付属の無線 LAN アダプタは、次の手順で取り外します。

☞P.122 「■ Windows Vista の場合」

☞P.122 「■ Windows XP/2000 の場合」

■ Windows Vista の場合

1 画面右下の通知領域にある アイコンをクリックし、「CG-WLUSB300N（または CG-WLCB300GNS）を安全に取り外します」をクリックします。

2 「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

3 無線 LAN アダプタを取り外します。

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

■ Windows XP/2000 の場合

1 画面右下の通知領域にある アイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。

無線クライアントユーティリティ画面の右上の をクリックした状態では、無線クライアントユーティリティは終了していません。

2 画面右下の通知領域にある アイコンをクリックし、「CG-WLUSB300N（または CG-WLCB300GNS）を安全に取り外します」（お使いの OS により、中止や停止という意味の内容になります）をクリックします。

3 「‘CG-WLUSB300N’（または ‘CG-WLCB300GNS’）は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

4　無線 LAN アダプタを取り外します。

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

4.4.6　無線 LAN アダプタの設定画面を表示させたい

画面右下の通知領域にある アイコンをダブルクリックすると、無線 LAN アダプタの設定画面を表示できます。

4.4.7　無線 LAN アダプタを削除（アンインストール）したい

CG-WLRGNX-U または CG-WLRGNX-P に付属の無線 LAN アダプタの削除（アンインストール）方法は、付属のユーティリティディスク（CD-ROM）収録の「無線クライアントユーティリティ　詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.126「■　ユーティリティディスク（CD-ROM）から見る（セット品のみ）」

Q&A

4.4.8　もっと詳しい取扱説明書を入手したい

本商品の詳しい使い方を記載した取扱説明書（PDF マニュアル）は、次の方法で入手できます。

商品名	取扱説明書	入手方法
CG-WLRGNX	CG-WLRGNX 詳細設定ガイド	コレガホームページ
CG-WLRGNX-U	CG-WLRGNX 詳細設定ガイド	コレガホームページ
	CG-WLUSB300N 無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド	ユーティリティディスク （CD-ROM） または コレガホームページ
CG-WLRGNX-P	CG-WLRGNX 詳細設定ガイド	コレガホームページ
	CG-WLCB300GNS 無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド	ユーティリティディスク （CD-ROM） または コレガホームページ

☞P.125「■ コレガホームページからダウンロードする」
☞P.126「■ ユーティリティディスク（CD-ROM）から見る（セット品のみ）」

・「詳細設定ガイド」をご覧いただくには、お使いのパソコンに Adobe Reader がインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていない場合は、Adobe のサイトからダウンロードしてインストールしてください（Adobe Reader は無料でダウンロードできます）。

・「詳細設定ガイド」をダウンロードするには、インターネットに接続する必要がありますので、インターネットへの接続に問題がないことをご確認ください。

・お使いの環境によっては、Web ブラウザの中に PDF ファイルが表示される場合があります。その場合は、[保存]（フロッピーディスクの形をしたボタン）をクリックすると、「詳細設定ガイド」をパソコンに保存できます。

・予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■コレガホームページからダウンロードする

「CG-WLRGNX 詳細設定ガイド」または「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」は、次の手順でダウンロードしてご覧ください。

・予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。
・「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」はユーティリティディスク（CD-ROM）にも収録されています。

1　Web ブラウザを起動します。

2　アドレス欄に「http://corega.jp/」（「」は不要です）と入力して Enter キーまたは return キーを押します。

3　「製品情報」で「無線LAN」を選択します。

4　お使いの商品名を選択し、「ダウンロード」をクリックします。

5　ダウンロードします。

「詳細設定ガイド」または「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択します。

以上で、ダウンロードは完了です。

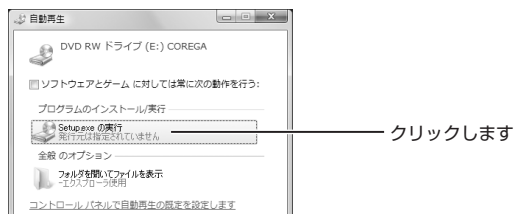
保存した「詳細設定ガイド」または「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」をダブルクリックしてご覧ください。

■ユーティリティディスク（CD-ROM）から見る（セット品のみ）

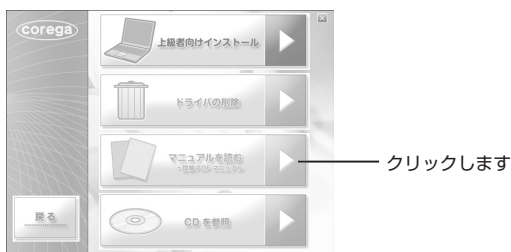
「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」は、付属のユーティリティ（CD-ROM）に収録されています。次の手順でご覧ください。

1 ユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンにセットします。

Windows XP/2000 の場合は、手順 4 に進みます。

2 【Windows Vista のみ】「Setup.exe の実行」をクリックします。

3 【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、「許可」をクリックします。

4　［オプション］をクリックします。

5　[マニュアルを読む－詳細 PDF マニュアル] をクリックします。

以上で、「無線クライアントユーティリティ　詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）が表示されます。

付録

仕様一覧

■ CG-WLRGNX 仕様

サポート規格	無線 LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）（※ 1）/ IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラス B、技術基準適合証明
対応 PC		DOS/V、Macintosh
対応 OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000/Me/98SE、Mac OS X（10.4/10.5）
推奨ブラウザ		Internet Explorer 6.0/7.0、Safari 2.0/3.0
無線 LAN 仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）(※ 1) /g/b] 2.412GHz ～ 2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n(ドラフト)(※ 1)/g/b] 13ch(1～13ch)
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）(※ 1)]150Mbps（ショートガードインターバル / ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g]54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式	PIFA アンテナ× 1
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、WPA-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X 認証）、WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X 認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）、 ステルス AP（SSID 名隠蔽、ANY 拒否）、 MAC アドレスフィルタリング、 ワイヤレスパーティション（無線端末 <=> 有線端末、無線端末 <=> 無線端末間通信の有効 / 無効）

※ 1　IEEE802.11n（ドラフト）に準拠します。「Wi-Fi CERTIFIED」は、IEEE802.11g/b として認証を取得しています。

WAN 仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
	ポート	RJ-45 × 1 ポート（MDI/MDI-X 自動認識）
LAN 仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
	ポート	RJ-45 × 4 ポート(全ポート MDI/MDI-X 自動認識）
電源仕様（AC アダプタ）	定格入力電圧	AC100V（50/60Hｚ）
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		7.4W
環境条件	動作時	温度 0 ～ 40 ℃／湿度 5 ～ 90%（結露なきこと）
	保管時	温度 －20～60℃／湿度 5～95%(結露なきこと）
外形寸法		27（W）× 135（D）× 125（H）mm 本体のみ（ゴム足 / 突起部を含まず）
質量		230g

■工場出荷時設定

管理者設定	ユーザ名	root
	パスワード	設定なし
	システム名	CG-WLRGNX
ネットワーク設定	IP アドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード	Infrastructure
	SSID	本体左側面「ネットワーク名」に記載
	チャンネル	自動設定
	暗号化	WPA/WPA2-PSK（セキュリティキーは「初期 PIN コード」に記載）
ルータ機能スイッチ		ON
マルチ AP 機能スイッチ		ON

■CG-WLUSB300N 仕様

サポート規格	無線 LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/ IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PC インタフェース	USB2.0/1.0 準拠
取得承認		VCCI クラス B、技術基準適合証明
対応 PC		DOS/V
対応 OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線 LAN 仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 2.412GHz ～ 2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 13ch （1 ～ 13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（受信）/ 150Mbps（送信）（ショートガードインターバル / ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g]54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、 DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（クライアントモード / アクセスポイントモード）/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ× 2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）
電源仕様	供給方法	USB インタフェースから供給（バスパワー）
	定格入力電圧	DC5V
	最大消費電流	420mA
環境条件	動作時	温度０～ 40 ℃／湿度５～90%（結露なきこと）
	保管時	温度－ 20 ～ 60℃／湿度５～95%（結露なきこと）
外形寸法		27（W）× 10（D）× 82（H)mm 本体のみ（キャップ含まず）
質量		13g 本体のみ（キャップ含まず）

■工場出荷時設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

■ CG-WLCB300GNS 仕様

サポート規格	無線 LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/ IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PC インタフェース	PC Card Standard（Card Bus）TypeII 準拠
取得承認		VCCI クラス B、技術基準適合証明
対応 PC		DOS/V
対応 OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線 LAN 仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 2.412GHz ～ 2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 13ch （1 ～ 13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（受信）/ 150Mbps（送信）（ショートガードインターバル / ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、 DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ× 2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、WPA-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X 認証）、WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X 認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）、 IEEE802.1X-WEP（ダイナミック WEP）
電源仕様	供給方法	PC カードインタフェースから供給
	定格入力電圧	DC3.3V
	最大消費電流	520mA
環境条件	動作時	温度 0 ～ 55 ℃／湿度 5 ～ 90％（結露なきこと）
	保管時	温度－ 20 ～ 65℃／湿度 5 ～ 95％（結露なきこと）

外形寸法	54（W）× 118（D）× 7（H）mm （突起部：54（W）× 34（D）× 7（H）mm）
質量	38g

■工場出荷時設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

保証と修理について

■保証について

製品保証書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、製品保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

・製品保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2008 年 11 月　初　版

2009 年　2 月　第三版

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙　※ CG-WLRGNX 専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用いただきますようお願いします。

お問い合わせ日：　　　年　　月　　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：	FAX：	

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□□　Rev. □□		

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　（□常に発生する　□特定の動作をすると発生する　□不定期に発生する）
□設定方法　（□初期など　□購入後）

□別紙あり（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

―　このページをコピーしてお使いください　―

メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は･･･

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL からユーザ登録をしたあと、お問い合わせください。

http://corega.jp/faq/

FAX　045-476-6294
電話　045-476-6268

〈受付時間〉
10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 商品名
- シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- 接続構成
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）